

差出人: office-sic-alliance [office-sic-alliance@fed.or.jp]  
送信日時: 2010年11月26日金曜日 15:00  
件名: SiCアライアンスの最近の動きのご報告

SiCアライアンス事務局（吹譯）です。

SiCアライアンスの最近の動きをご報告します。  
このメールはSiCアライアンス会員の登録された連絡先の方に  
お送りしています。  
社内の関係先には転送をお願いします。

お知らせの内容

1. 企画委員会の開催
2. 広報委員会の開催
3. 講演会の開催予定（参加申し込み案内）
4. その他

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

企画委員会、広報委員会のメンバー構成が決まり、それぞれ第1回  
の委員会を開催し委員会活動が始まった。企画委員会と広報委員会  
は、SiCアライアンスの目的達成のため、一体となって活動を  
進めていく。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

## 1. 企画委員会の開催

企画委員会は第1回会合を11月12日に開催した。  
委員は15名、委員長に三菱電機の豊田吉彦氏が選出された。

企画委員会は概要次のような活動を行う。

- ①次の大目的のもと、SiCの研究開発・事業化・普及促進に  
関する活動を行う。
  - ◎4つのプロジェクト／イニシアチブに横串を通す
  - ◎オールジャパンベースのSiC関係機関の連携を深め、  
SiCの導入を促進する
- ②企画委員会の活動の概要は広報媒体により会員に情報発信する。
- ③会員からの提案・意見は企画委員会において課題として検討し、  
活動に反映する。（双方向性の確保、具体的な課題の発掘）
- ④プロジェクトの報告会の共同開催等に協力する。
- ⑤会員向けに、共通課題に関する講演会を企画、実行する。
- ⑥プロジェクト間に横串を通すべき課題を把握検討して具体的な  
提案を行う。
- ⑦アライアンスが取り組むべき課題は次の3つのフェーズに分け  
てとらえる。
  - ・フェーズ1（課題発掘段階）：課題として認識する段階
  - ・フェーズ2（課題把握段階）：課題を議論し理解を深め、  
取り組むべき内容を把握する段階。
  - ・フェーズ3（計画・実行段階）：課題への取組を具体的に  
計画し、実行する段階

松波会長からのアライアンスに向けての期待、産総研岡田審議役  
からTIAパワエレ拠点の検討状況、産総研の奥村元先進パワエレ  
研究センター長からプロジェクト間の人・モノ・情報の交流につ  
いての課題について説明があり、委員会で取り上げるべき課題、取り  
上げ方・取り組み方等について広く意見交換した。課題をフェーズ

に分けてとらえ、具体的な実行に早急に取り組む方針。  
政策提言、知財・標準化の問題にも取り組む。  
今回は12月14日に開催し、具体的な進め方を議論する予定。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

## 2. 広報委員会の開催

広報委員会は第1回会合を11月4日に開催した。  
委員は12名、委員長に産総研の荒井和雄氏が選出された。

活動の基本方針を次のように決定した。

### (1) 目的

SiCの実用化に係る研究開発並びに国内外への普及等についての産学官の連携を図り、SiC半導体の導入を促進。

### (2) SiCアライアンス規約に掲げる事業への対応

- ①共同研究開発（国家プロジェクト）等の取組の俯瞰及びこれに係る情報共有。  
→ 電子情報媒体（ウェブサイト）による情報提供
- ②産学官の協調領域の模索及び相互連携の強化。  
→ 訪問・取材によるプロジェクト・取組（異業種を意識）の理解の深化と広報
- ③最終製品別のSiC半導体の普及シナリオ及びロードマップの作成並びに共有。  
→ 企画委員会の活動の適時な広報と会員意見交換の場の提供（各プロジェクトにおける取組の報告・紹介）
- ④SiC半導体に関する国際標準化、知的財産戦略等に関する情報共有及び意見交換。  
→ 企画委員会の活動の適時な広報と会員意見交換の場の提供（有識者、政策担当者等の講演による課題理解の深化と意見交換）
- ⑤SiC半導体普及促進に係る政策提言。  
→ 企画委員会の活動の適時な広報と会員意見交換の場の提供（ユーザからの意見・期待・提言の把握・紹介、デバイス・ユーザ間の意見交換会）

### (3) 活動の基本的考え方

活動にあたっては、①互恵性、②透明性、③双方向性、④迅速性、⑤現場負担軽減を基本とする。

電子情報媒体は、当初案ではメルマガが考えられていたが、迅速な情報提供、会員との双方向コミュニケーション（問い合わせ・意見・提案）に便利なことから、ウェブサイトを使うこととして、コンテンツ、体制、費用を早急に詰めることとした。12月中にも試験的なサイトをスタートさせる予定。  
今回は12月3日に開催する。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

## 3. 講演会の開催案内

来年1月25日に、知財分野で活躍されている金沢工大丸島儀一教授（元キャノン）をお呼びし、講演会を開催する。

講演者：丸島儀一・金沢工業大学教授

題目：「研究開発と知財戦略」

日時：平成23年1月25日（火） 14時～16時

場所：新機能素子研究開発協会会議室

参加希望者は、平成22年1月7日（金）までに、SiCアライ

アンス事務局までメールで申し込むこと。  
多数の参加を期待しています。

<丸島儀一氏のプロフィール：金沢工大のサイトから>  
早稲田大学卒。キヤノン(株)に入社以来、知的財産、製品法務を担当。常務、専務取締役時代に、新規事業育成本部長、研究開発推進委員会委員長、研究開発、国際標準担当なども務めた。日本特許協会理事長、(社)日本経済団体連合会知的財産部会長、(社)日本国際知的財産保護協会副会長、日本弁理士会副会長、産業構造審議会委員、文化審議会著作権分科会委員、科学技術会議専門委員、国家産業技術戦略検討委員などを歴任。  
平成19年4月金沢工大教授に就任。

さらに、講演を企画中。とりあげてほしい題目・講演者等、要望があれば、SiCアライアンス事務局までお知らせいただきたい。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

#### 4. その他の情報

##### ー SiCプロジェクト関係のウェブサイト

最先端研究開発支援プログラム <http://www.first-sic.jp/>  
グリーンIT、新材料パワー半導体プロジェクト  
FUPET <http://www.fupet.or.jp>  
産業変革研究イニシアチブ  
<http://unit.aist.go.jp/adperc/ci/project/index.html>

ー また、11月6日付けのEETIMESの技術解説には、SiCパワー半導体の最近の動向や、イニシアチブやFUPETのモジュール試作例がくわしく紹介されている。

<http://eetimes.jp/content/4376>

\*\*\*\*\*  
SiCアライアンス事務局  
メールアドレス：  
[office-sic-alliance@fed.or.jp](mailto:office-sic-alliance@fed.or.jp)  
\*\*\*\*\*